

こども 民俗芸能大会

令和六年度



入場無料

とき 令和6年9月29日(日) 開場/12時30分
開演/13時

ところ 藤崎町文化センター
南津軽郡藤崎町大字西豊田一丁目1番地
TEL.0172-75-3311



こどもたちの力強い舞とい
元気な囃子が鳴り響く

青森市 荒川獅子舞

五所川原市 浅井獅子(鹿)踊

藤崎町 お山参詣登山囃子・下山囃子

弘前市 五代獅子舞

十和田市 晴山獅子舞(三番叟)

東北町 鶏舞・念仏踊り

特別出演(大人)

藤崎町 菊様の舞・松助の踊り・ねふた囃子

主催：青森県教育委員会 共催：藤崎町教育委員会 お問い合わせ：青森県教育庁文化財保護課 TEL.017-734-9920

写真：お山参詣登山囃子・下山囃子

令和6年度 こども民俗芸能大会

出演団体・演目のご紹介

あら かわ し し まい 荒川獅子舞



【青森市 / 荒川児童室 獅子舞クラブ】

荒川獅子舞は、約350年前の江戸時代に、荒川地区の川の改修工事に来た津軽藩士から伝えられたと言われており、雄獅子2匹と雌獅子1匹、獅子の誘導役である「おかしこ」で構成されています。荒川獅子舞は熊獅子踊りとなっております。

理想の土地を求め、おかしこと呼ばれる道化者の道案内で旅に出た3頭の獅子たちが、たくさんの困難を乗り越え理想の土地を探し歩いたすえ、自分たちが思い描いていた理想の土地は、自分たちが生まれ育ったふるさとであったということに気づき、ふるさとへ帰るという物語となっております。五穀豊穡や魔を払うものとして語り継がれています。

あさ い し し し か おどり 浅井獅子(鹿)踊



【五所川原市 / 浅井獅子踊保存会】

浅井獅子(鹿)踊は、約300年前から浅井地域に伝わる伝統芸能で、昭和37年に青森県無形民俗文化財に指定されましたが、次第に指導者や後継者が少なくなり、平成13年からその伝統は休止されていました。平成24年にこどものころに踊った人々を中心として、地域の有志が復活させました。未永く後世まで獅子踊りの伝統が引き継がれることを願い5歳のこどもから70歳前半の人まで世代を超えて活動を続けています。

踊り手は、可笑子(おかしこ)、雄獅子(おじし)、雌獅子(めじし)、中獅子(なかじし)の4人で構成されており、人生の険しい道のを協力して山を切り開き乗り越え、一緒に喜びを分かち合うという意味があります。場面場面で笛・鉦・太鼓のお囃子が変わり、軽快なリズムになっています。一生懸命踊りますので応援よろしくお願いします。

やまさんけい と どんばやし げざんばやし お山参詣登山囃子・下山囃子



【藤崎町 / 藤崎町芸能文化協会】

重要無形民俗文化財に指定されているお山参詣は、旧暦8月朔日、黄金の稲穂が頭垂れる頃、五穀豊穡の感謝と祈願をこめ、山頂奥宮に村落毎に団体で登拝する古くからの行事です。

藤崎町芸能文化協会では、中学生以下の生徒児童に昔ながらの岩木山登拝行事の様子を伝えと共に、行事に欠かせない囃子の伝承を行っております。

活動については、行事の行われる時期にかかわらず、通年で毎週練習を行っています。

一生懸命演奏しますので、応援よろしくお願いします。

ご だい し し まい 五代獅子舞



【弘前市 / 五代獅子舞保存会】

1491年(延徳3年)津軽氏の前祖光信公が西津軽郡鯉ヶ沢裡に居住し、赤石城を築いた。京都に由来した獅子舞を城内の厄払い、悪霊払いの舞として奉納し、その後、弘前に移り、大浦城を築き、獅子舞もお供してきました。五代にて昭和34年に保存会を結成しました。

先達の道化役のおかしこが面をつけ、獅子を誘導します。舞は、月夜山奥で2〜3頭の鹿の情炎に狂う様を描いたといわれ、2頭の雄獅子が雌獅子を独占しようと闘うものです。地元神社の神楽、十五夜、夏まつりのイベントなどで舞っています。新築祝、結婚式、葬儀の甲いの舞などの機会もいただきました。

近年は、後継者育成のために力を注ぎ、月2〜3回の稽古に集まってくれるこどもたちと楽しく稽古を続けております。

はれ や ま し し まい さん ば そ う 晴山獅子舞(三番叟)



【十和田市 / 晴山獅子舞保存会】

平成7年から、獅子舞の練習日程を伝達して集まった集落のこども達に指導しています。また、獅子舞を習いたい町外のこどもも勧誘しています。

夏休み(7月、8月)、冬休み(12月、1月)を主体に、週1回・夜7時から晴山公民館で、1時間程度指導しています。集まる人数により、舞の指導内容を検討しています。

○三番叟

襦袢に裁着袴の軽装で、手に扇と錫杖を持って軽快に舞われます。翁舞の「もどきまい」と言われ、翁舞を復演することによって再生を願う意味を持っています。翁舞と同じように、不老長寿を願うめでたい時の舞と言えます。

けい ばい ねん ぶつ おどり 鶏舞・念仏踊り



【東北町 / 沼崎念仏鶏舞保存会】

東北町沼崎本村地区に伝わる沼崎念仏鶏舞は、五穀豊穡を祈願するとともに先祖の供養、地区の繁栄と家内一同の福寿を願う祝い舞として、数百年間受け継がれてきたと言われております。

昭和45年に正式に保存会が発足し、翌年の昭和46年に青森県無形民俗文化財に指定され、現在に至っております。

主な活動として、小学校から高校生までの地区の児童生徒が中心となり毎年お盆の13日に地区の共同墓地で先祖の精霊の供養を行っています。この活動は半世紀以上にわたり続けられています。

また、町の秋祭りや町郷土芸能発表会などに参加し、精力的に活動が行われています。

今回は、鶏舞と念仏踊りを紹介する予定です。まだ習い始めのこどももいますが、一生懸命舞いますのでよろしくお願いします。

特別
出演
(大人)

きくさま まい まつすけ おどり ばやし 菊様の舞・松助の踊り・ねぶた囃子

【藤崎町 / 藤崎町芸能文化協会】

「菊様の舞・松助の踊り」は、江戸時代末期に安部菊五郎安基や藤田松助等によって創作された舞で、昭和50年12月26日に藤崎町無形文化財に指定されております。両手の扇子をかざした優雅な舞で、祝言など祝いの席で披露されております。

「ねぶた囃子」では、藤崎町内で行われるねぶたの囃子を演奏します。



会場
ご案内
図

